



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 エスケーアイ
 コード番号 9446 URL <http://www.ski-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴將

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	13,784	1.3	628	12.5	662	44.7	449	108.7
28年9月期第3四半期	13,603	5.0	559	1.3	458	20.2	215	29.4

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 501百万円 (%) 28年9月期第3四半期 8百万円 (98.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	42.45	40.76
28年9月期第3四半期	19.86	19.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	22,252	4,121	16.9
28年9月期	18,229	4,050	20.4

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 3,764百万円 28年9月期 3,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		10.00		10.00	20.00
29年9月期		10.00			
29年9月期(予想)				13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,325	1.9	865	13.3	835	27.6	485	53.9	45.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	10,856,500 株	28年9月期	10,856,500 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	368,966 株	28年9月期	117 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	10,594,970 株	28年9月期3Q	10,856,383 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(4) その他	10
(重要な後発事象)	10
(参考資料)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、堅調な設備投資と消費マインドの緩やかな上昇を背景として景気は回復から拡大に向う兆しもみられ、企業業績については業態により温度差はあるものの、企業努力により増益基調がみられる状況となっておりました。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は13,784百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は628百万円（前年同四半期比12.5%増）、経常利益は662百万円（前年同四半期比44.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は449百万円（前年同四半期比108.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、平成29年3月末現在で携帯電話の普及台数が16,272万台を超えましたが、スマートフォン（iPhone7）を中心とする新機種が平成28年9月に発売され、各移動体通信事業者とも積極的な販売競争を展開し、電力と通信等とのセット販売を強化するほか物販も開始され、当社は各店舗において顧客満足度の向上と、総合力アップを図りながら販売促進に努め、販売台数も増加いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ116,954台（前年同四半期比2.1%増）となり、また、積極的な営業施策を展開し、販売の効率性を図った結果、売上高は11,930百万円（前年同四半期比1.3%増）でしたが、営業利益は252百万円（前年同四半期比31.1%減）となりました。

②再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、平成26年9月に岐阜県に「エスケーアイ岩村発電所」を開設後、現在6発電所（内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営）が順調に稼働しており、和歌山の発電所も当期第4四半期（本年9月）中に完成予定となった他、東広島についても計画に沿って進捗しているため、先行投資も継続的に発生しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は334百万円（前年同四半期比131.9%増）、営業利益は128百万円（前年同四半期比202.4%増）となりました。

③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、平成26年4月に開設した新潟支店の業績も順調に推移しており、更に販売力と一人あたりの生産性の向上に繋げるほか、複数の保険会社の商品の取扱を継続する他、提携ビジネスも展開しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は931百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益は173百万円（前年同四半期比54.4%増）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネージメント株式会社は平成21年9月に設立後、平成22年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降現在5会館を運営し、イベントの開催等を含め各会館の更なる認知度の向上と今後の需要を見据えた積極的な営業政策を継続しており、着実にその成果が現れております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は542百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益は76百万円（前年同四半期比220.3%増）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で平成19年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しております。但し、当期につきましては、太陽光設備等は販売しておりません。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は60百万円（前年同四半期比85.0%減）、3百万円の営業損失（前年同四半期は17百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が409百万円増加したものの、売掛金が212百万円減少したことなどにより、流動資産は223百万円増加し7,378百万円となりました。一方、固定資産は有形固定資産が3,861百万円増加したことなどにより、全体で3,798百万円増加し14,873百万円となりました。その結果、資産総額は4,022百万円増加し22,252百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末と比較して買掛金が650百万円、短期借入金が379百万円減少したものの、その他流動負債が948百万円増加したことなどにより、流動負債は49百万円減少し6,980百万円となりました。一方、固定負債は長期借入金が3,786百万円、社債が290百万円増加したことなどにより、全体で4,001百万円増加し11,150百万円となりました。その結果、負債総額は3,951百万円増加し18,130百万円となりました。

また、純資産については、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が230百万円増加したものの、自己株式が189百万円増加したことなどにより71百万円増加し4,121百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、通期では計画通り進捗する見通しのため、連結及び個別とも当初の計画（平成29年5月12日付「平成29年9月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ」で公表）を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,706,419	4,115,911
売掛金	2,425,834	2,213,665
商品	819,764	860,451
繰延税金資産	51,056	77,629
その他	152,039	111,189
流動資産合計	7,155,114	7,378,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732,087	1,596,875
機械装置及び運搬具(純額)	2,175,598	2,076,864
土地	1,924,886	1,846,989
建設仮勘定	3,162,140	7,327,125
その他(純額)	33,584	41,950
有形固定資産合計	9,028,297	12,889,804
無形固定資産		
のれん	180,568	180,568
その他	267,798	253,331
無形固定資産合計	448,366	433,899
投資その他の資産	1,598,068	1,549,988
固定資産合計	11,074,732	14,873,692
資産合計	18,229,847	22,252,539
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,403,019	752,604
短期借入金	4,275,000	3,895,833
未払法人税等	47,248	147,039
賞与引当金	91,077	51,850
役員賞与引当金	70,750	41,400
その他	1,142,478	2,091,314
流動負債合計	7,029,574	6,980,042
固定負債		
社債	710,000	1,000,000
長期借入金	5,411,733	9,198,076
繰延税金負債	439,139	469,161
役員退職慰労引当金	271,810	89,420
退職給付に係る負債	73,199	81,271
資産除去債務	212,673	214,276
その他	31,161	98,687
固定負債合計	7,149,718	11,150,893
負債合計	14,179,292	18,130,935

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	1,924,506	2,155,491
自己株式	△26	△189,093
株主資本合計	3,320,707	3,362,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	395,426	448,751
繰延ヘッジ損益	—	△46,887
その他の包括利益累計額合計	395,426	401,864
新株予約権	53,123	36,062
非支配株主持分	281,297	321,052
純資産合計	4,050,554	4,121,603
負債純資産合計	18,229,847	22,252,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	13,603,881	13,784,821
売上原価	9,867,051	9,982,080
売上総利益	3,736,829	3,802,741
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	1,346,205	1,406,533
賞与引当金繰入額	42,760	63,695
役員賞与引当金繰入額	53,062	10,800
退職給付費用	14,689	15,317
役員退職慰労引当金繰入額	17,940	14,830
その他	1,702,967	1,662,708
販売費及び一般管理費合計	3,177,625	3,173,884
営業利益	559,203	628,856
営業外収益		
受取利息	1,950	1,615
受取配当金	23,859	22,449
補助金収入	6,678	—
為替差益	—	88,547
その他	13,649	37,522
営業外収益合計	46,137	150,133
営業外費用		
支払利息	40,915	69,740
融資手数料	25,499	26,935
投資有価証券評価損	19,070	—
為替差損	45,446	—
その他	16,380	19,603
営業外費用合計	147,311	116,279
経常利益	458,028	662,711
特別利益		
固定資産売却益	6,607	39,072
受取保険金	11,868	254,990
新株予約権戻入益	—	25,889
その他	—	600
特別利益合計	18,476	320,553
特別損失		
固定資産除却損	2,720	4,139
ゴルフ会員権評価損	1,100	—
投資有価証券評価損	6,257	—
役員退職慰労引当金繰入額	—	146,810
弔慰金	—	150,000
店舗盗難損失	11,640	—
減損損失	14,077	23,182
その他	—	208
特別損失合計	35,796	324,340
税金等調整前四半期純利益	440,708	658,923
法人税、住民税及び事業税	69,905	167,256
法人税等調整額	133,474	△3,829
法人税等合計	203,379	163,427
四半期純利益	237,329	495,496
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,774	45,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,555	449,779

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	237,329	495,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228,737	53,348
繰延ヘッジ損益	—	△46,887
その他の包括利益合計	△228,737	6,461
四半期包括利益	8,591	501,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,068	456,217
非支配株主に係る四半期包括利益	21,660	45,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売 関連事業	再生可能 エネルギー 事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	11,775,794	144,243	904,467	469,941	309,435	13,603,881	—	13,603,881
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	93,015	93,015	△93,015	—
計	11,775,794	144,243	904,467	469,941	402,450	13,696,896	△93,015	13,603,881
セグメント利益 又は損失(△)	367,169	42,466	112,257	23,996	17,412	563,300	△4,097	559,203

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、エスケーアイ東員第2発電所を開設しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「再生可能エネルギー事業」において481,608千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売 関連事業	再生可能 エネルギー 事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	11,930,190	334,459	931,326	542,784	46,061	13,784,821	—	13,784,821
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	14,188	14,188	△14,188	—
計	11,930,190	334,459	931,326	542,784	60,249	13,799,009	△14,188	13,784,821
セグメント利益 又は損失(△)	252,968	128,402	173,277	76,848	△3,137	628,360	496	628,856

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日と比べ、報告セグメントの資産の金額は、「再生可能エネルギー事業」において増加しております。これは主に、太陽光パネルの取得等により「建設仮勘定」が4,164,984千円増加したことによるものであります。

(4) その他

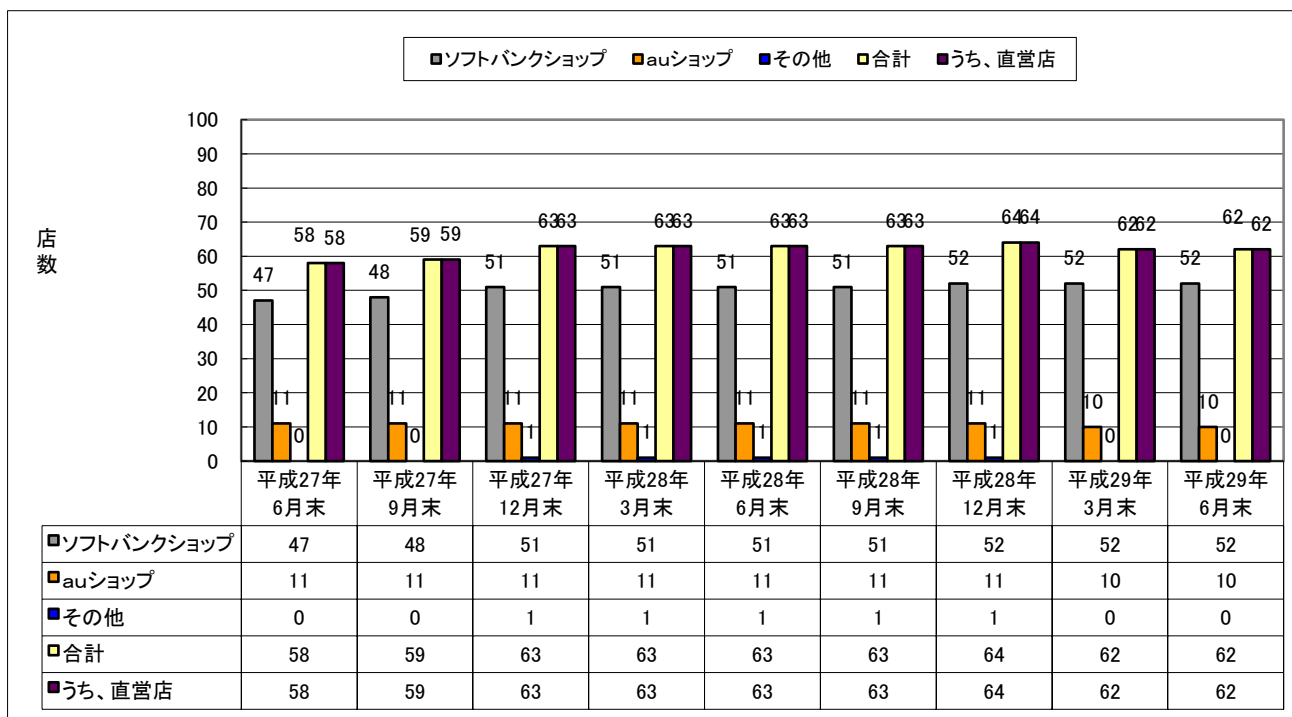
(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(参考資料)

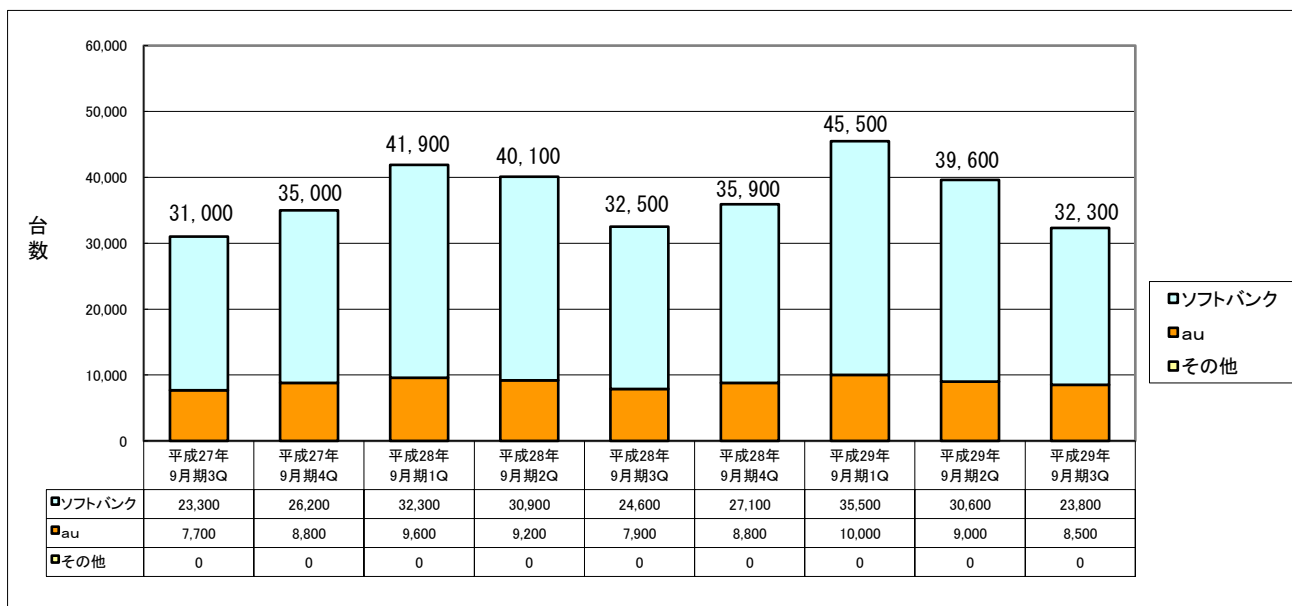
四半期毎の店舗数推移

(単位：店)



四半期毎のキャリア別取扱台数

(単位：台)



なお、台数については百台未満を四捨五入しております。

上記取扱台数に占める新規販売台数の割合及び直営店による取扱比率

(単位：%)

	平成27年 9月期3Q	平成27年 9月期4Q	平成28年 9月期1Q	平成28年 9月期2Q	平成28年 9月期3Q	平成28年 9月期4Q	平成29年 9月期1Q	平成29年 9月期2Q	平成29年 9月期3Q
新規販売比率	44.7	40.7	36.3	48.4	40.0	33.2	29.7	34.8	33.7
直営店取扱比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0